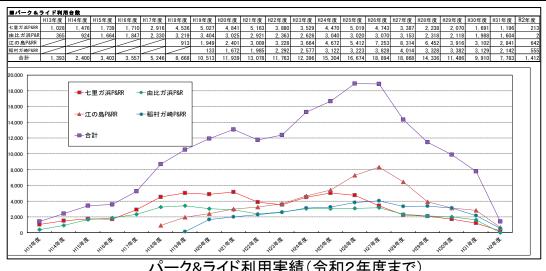
# パーク&ライドの利用促進に向けた実証実験実施結果報告書

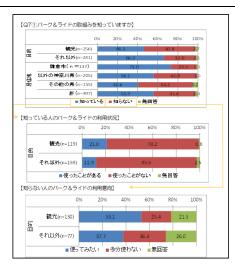
都市計画課交通政策担当

#### 1.実施の背景

- ・パーク&ライド(※1)は、平成8年(1996年)に「鎌倉地域の地区交通計画の提言」で示された20の施策に基づき、社会実験 を経て平成13年度から本格実施を開始し、5箇所(※2)(江の島、七里ガ浜、稲村ガ崎、由比ガ浜、大船)で運用している。
- ・利用実績については、平成26年度の18.894台をピークに減少傾向となっており、実証実験実施前年度である令和2年度は 新型コロナウイルス蔓延の影響により、1.412台にとどまっている。
- ・平成24年度に、市役所駐車場の利用者(観光目的)に対して、パーク&ライドの認知度に関するアンケート調査を行った結 果、約5割の利用者が「知らない」と回答しており、そのうちの約5割は「使ってみたい」と回答した。一方、残りの約5割の利 用者はパーク&ライドの取り組みを「知っている」と回答しているものの、そのうちの約8割が「使ったことがない」と回答して いた。
- ・また、販売形式が紙券での販売となっており、利用者の行動履歴等の実態把握や、パーク&ライドの利用実態の検証・評 価が十分ではなかった。
- ・このことから、パーク&ライドの利用促進に向けた、「認知度の向上」、「利用してもらうための工夫」、「利用実態の把握」 が課題であった。
- ※1:観光スポットが集中している鎌倉地域における交通渋滞の緩和を目的として、鎌倉地域の周辺にある既存の駐車場に車を停め、江ノ電等の公共交通に乗り換えて目的地に 向かっていただく施策で、利用された方は、協賛店や寺社等で割引等のサービスが受けられる特典が付いている。
- ※2: 令和6年3月以降は4箇所(江の島、七里ガ浜、由比ガ浜、大船)で運用



パーク&ライド利用実績(令和2年度まで)



パーク&ライドについてのアンケート調査結果(H24実施)

#### 2.「パーク&ライドの利用促進に向けた実証実験」概要

#### 〇実施目的

「パーク&ライドの利用促進に向けた実証実験」(以下「実証実験」という。)は、芝浦工業大学と鎌倉市が締結した協定に基づき、広くモニターを募り、芝浦工業大学が開発したアプリケーション「スイスイ旅」(※1)を活用し、鎌倉地域における交通需要マネジメント施策の一つであるパーク&ライドの利用実態の把握や利用促進に向けた効果的な情報提供のあり方、情報提供によるドライバーの行動変容について検証することを目的に実施したものです。

※1:芝浦工業大学(土木工学科楽准教授 モビリティ・インフラ研究室)が開発した、「リアルタイムの情報提供による渋滞回避と観光行動の 誘発に関する実証実験」用のアプリケーション。

#### 〇実施期間

令和4年(2022年)2月1日から12月28日まで

#### 〇対象駐車場(パーク&ライド駐車場)

- ・NPC大船駅前パーキング(大船パーク&ライド)
- ・江ノ電駐車センター(江の島パーク&レールライド)
- ・県道路公社稲村が崎駐車場(稲村ガ崎パーク&レールライド)(R6.3以降休止中)
- ・七里ヶ浜海岸駐車場(七里ガ浜パーク&レールライド)
- ※由比ガ浜パーク&ライドは休止中であったため対象外

#### 「スイスイ旅」の概要〔来訪時〕

実証実験は、観光等を目的に鎌倉地域を車で訪れる際に、「スイスイ旅」アプリを利用してもらい、鎌倉までの経路とパーク&ライド駐車場の案内をすることによりスムーズな駐車と公共交通への転換を促進しようとするもので、併せて帰宅時までの経路や出発時間による所要時間の案内し、アプリ利用者の属性や利用実態の把握等を行うためのアンケート調査を実施した内容となっています。

#### (来訪時画面遷移)



アプリ画面例(来訪時)

### 「スイスイ旅」の概要[帰宅時]

#### (帰宅時画面遷移)



アプリ画面例(帰宅時)

#### アンケート調査結果

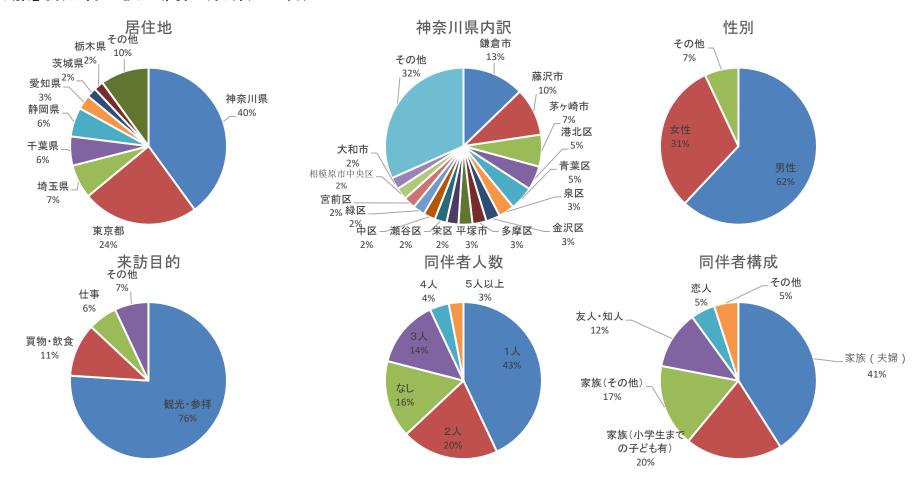
- 「スイスイ旅」利用者からは、居住地や性別等の個人属性を取得。(登録は任意、アプリダウンロード者626名分)
- ・また、効果検証を目的に「スイスイ旅」において鎌倉観光を終えた方を対象にアンケート調査を実施した。(回答は任意)
- ・なお、実験期間中に収集したアンケート総数は86件であった。

#### ○アンケート調査項目

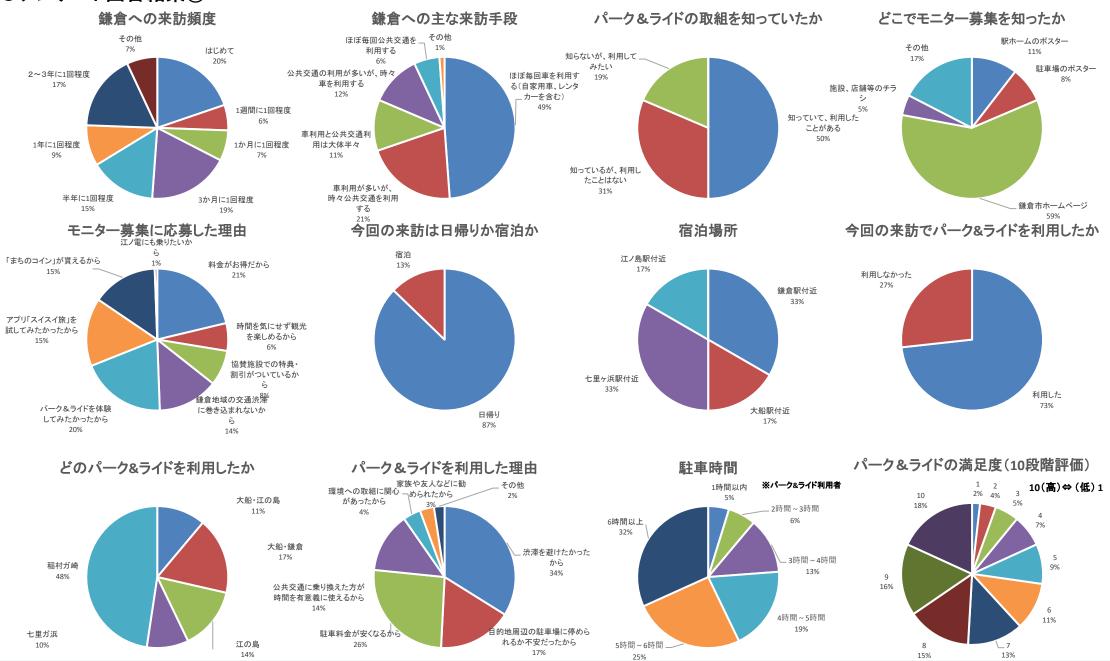
- •居住地
- 性別
- \*来訪目的
- •同伴者人数
- •同伴者構成
- ・鎌倉への来訪頻度
- ・鎌倉への主な来訪手段
- パーク&ライドの取組を知っていたか。
- どこでモニター募集を知ったか
- ・モニター募集に応募した理由
- ・今回の来訪は日帰りか宿泊か
- •宿泊場所
- ・今回の来訪でパーク&ライドを利用したか
- どのパーク&ライドを利用したか
- パーク&ライドを利用した理由
- •駐車時間
- パーク&ライドの満足度

- パーク&ライドを利用しなかった理由
- ・どのように改善したらパーク&ライドを利用したいと思うか
- ・帰宅の際選択した出発時間
- •「今すぐ出発」を選択した理由
- ・出発時間を遅らせた理由
- ・出発時間を遅らせた際の立ち寄場所
- スイスイ旅はパーク&ライドを利用するきっかけになったか。
- スイスイ旅で渋滞を回避できたか
- ・出発時間別の所要時間の提案は参考になったか
- ・今後も「スイスイ旅」を利用したいか
- 今後も利用したいと思った理由
- ・スイスイ旅の満足度(10段階評価)

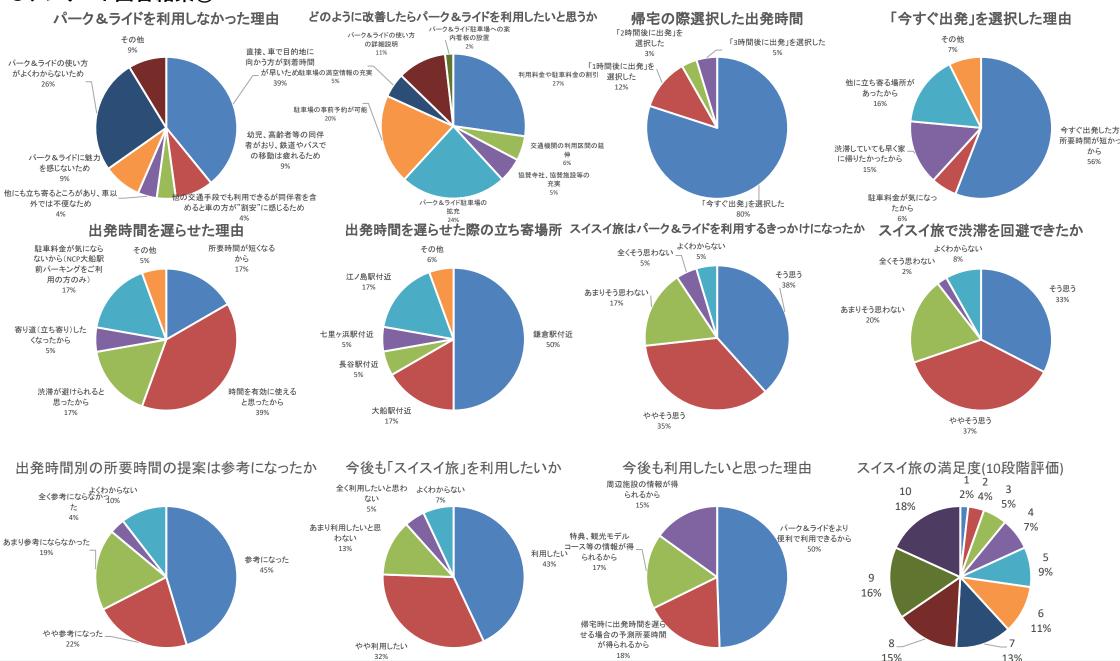
#### ○「スイスイ旅」利用者の個人属性(総数626名)



#### 〇アンケート回答結果①



#### 〇アンケート回答結果②



#### Oアンケート回答結果③

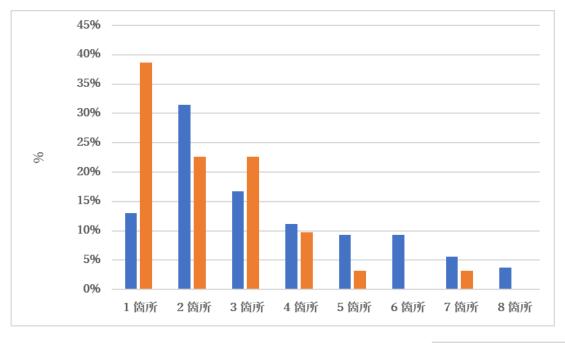
アンケート調査結果から、パーク&ライド利用者の方は観光時間が長く、多くの観光スポットに滞在し、多くの金額を消費していることが分かった

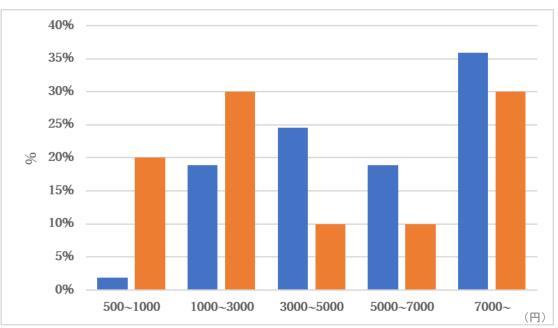
#### ・パーク&ライド利用者・非利用者の観光周遊行動の比較

	行き到着時間	帰り出発時間	観光活動時間(分)	滞在箇所数	消費金額(円)
パーク&ライド利用者	11:23	15:11	221. 9	3. 41	6, 798
パーク&ライド非利用者	11:41	14:22	161.5	2. 29	5, 600

#### ・パーク&ライド利用者・非利用者の滞在箇所数の比較

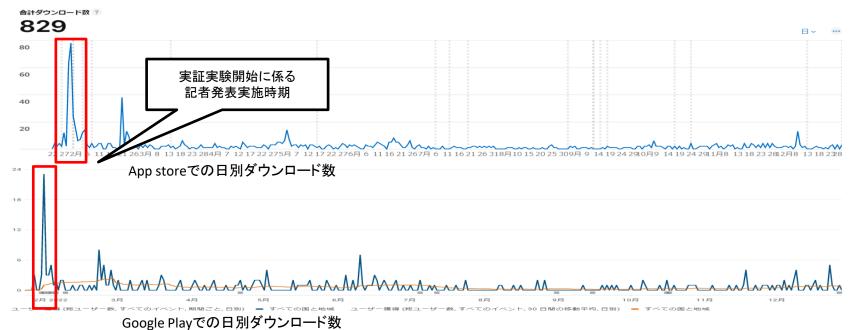
#### ・パーク&ライド利用者・非利用者の消費金額の比較



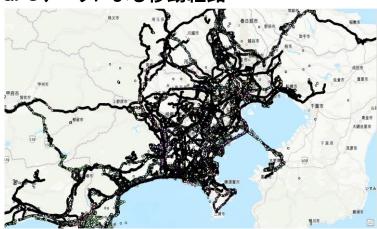




## 〇その他資料① ・スイスイ旅ダウンロード状況(計1,071件)



#### ・GPSデータによる移動経路



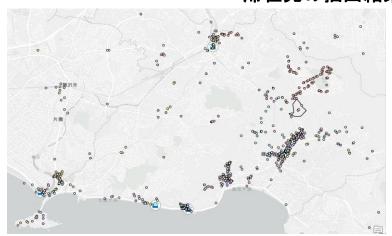
ダウンロードしたユーザーの中でも、実際に鎌倉駅付近においてGPSデータを取得でき たのは、215件であった。

#### ・アンケートから取得した滞在施設

施設名	訪問者数
鶴岡八幡宮	28
長谷寺	19
高徳院(鎌倉大仏)	14
大河ドラマ館	7
明月院	4
建長寺	3
豊島屋	3
井上蒲鉾店	3
銭洗弁財天	3
鎌倉高校	3

#### 〇その他資料②

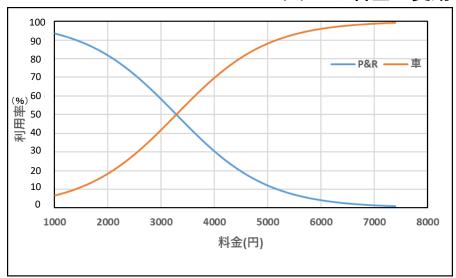




施設/地域	人数	割合
鶴岡八幡宮	34	17%
小町通り	38	19%
鎌倉大仏	15	8%
長谷寺	26	13%
江ノ島	26	13%
全体	198	

GPSデータから滞在先を抽出した結果、小町通り、鶴岡八幡宮、鎌倉大仏、長谷寺等の観光地に来訪者が集中していることが確認できた。

#### ・パッケージ料金の変動によるパーク&ライド利用率の変動



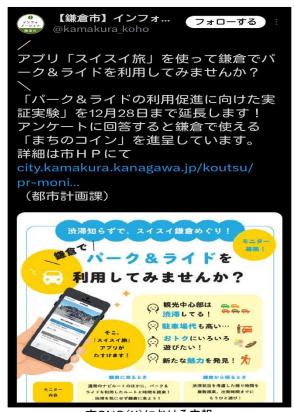
パーク&ライドパッケージ料金の変動によるパーク&ライド利用率の感度分析を行った結果、パーク&ライドのパッケージ料金(※1)が3,300円以内であれば、パーク&ライドの利用が車利用より優位性があることがわかった。

(車利用時の駐車料金は3,500円、電車利用時間,歩行時間ともに10分、滞在時間は6時間以上の同伴者1人である状況を想定。)

※1 パーク&ライドの利用料金

#### 広報の内容

- 〇 「パーク&ライドの利用促進に向けた実証実験」の利用促進を図るため以下の広報を実施した。
  - ・市X(旧Twitter)において実証実験に係るポストを投稿。
  - 市及び鎌倉市観光協会ホームにおいて実証実験に係る記事を掲載。
  - 神奈川県観光協会ホームページ上に、実証実験に係る市ホームページに遷移するバナーを掲載。
  - ・エフエム横浜の番組上で実証実験を周知。
  - •実証実験に係るチラシを鎌倉市観光協会及び近隣市の観光協会に配架。
  - ・パーク&ライド協賛寺院等に実証実験ポスターを掲示。
  - ・希望者に対し観光部署から送付している観光資料内に実証実験チラシを同封。







市ホームページ 実証実験記事(抜粋)



配架した実証実験チラシ(ポスターも同デザイン)

#### 実施結果まとめ

- ・アンケート回答結果では、「スイスイ旅」利用者にパーク&ライドの利用を案内すると、73%の方、又GPSデータの分析結果では42%の方がパーク&ライドを利用しており、アプリにおける情報提供の効果があったものと考えられる。
- ・実証実験に活用したアプリ「スイスイ旅」については、総ダウンロード数が1,071件に達し、特に記者発表直後のダウンロードが極端に多かったことから(P10ダウンロード状況参照)メディアによる情報発信が広告効果になったものと考えられる。
- ・来訪者の属性は、県外在住者が60%を占め、県内在住者40%の内、横浜市在住者が38%を占め最も多かった。
- ・今回の実証実験では、記者発表、ラジオ放送、市ホームページ、SNS等によりPRに努めた結果、令和4年度はパーク&ライドの利用台数は6,063台となり、令和3年度と比較して3,464台増えた。
- パーク&ライドの利用者と非利用者の行動比較を分析した結果、利用者は非利用者より、観光活動時間、 滞在個所数、消費金額が多いことが確認できた。